



第51期 中間決算のご報告

平成18年4月1日から
平成18年9月30日まで



エスケー化研株式会社



代表取締役社長

藤井 實

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループ第51期中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)の連結業績につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における日本経済は、企業収益の改善を背景とする設備投資の拡大や雇用情勢の改善傾向等により

景気は緩やかに拡大しているとみられていますが、原油価格や市況商品価格の高止まりが続き、依然として不透明感が拭えない状況が続きました。

建築塗料業界におきましても、公共投資は未だ減少基調にあり、住宅投資も、新設住宅着工戸数は増加傾向にあるが、まだ模様状態の域を脱せず、業界全体の総需要の拡大には至らず厳しい経営環境のまま推移いたしました。

一方、当社グループが事業展開を行っているアジア経済は、中国では、設備投資活動が拡大しているものの、政府の金融引締め政策効果により従来景気の減速が予測されており、東南アジアにおいても、内需が停滞傾向にあり楽観視できない状況にあります。

このような環境のもと、国内総合リニューアル市場では、引き続き、特許製品の超低汚染・高耐久性塗料のセラミックハイブリッド製品が販売拡大に寄与するとともに、新築市場では、高級化と個性化への要望の高まりから、オリジナルの意匠性塗材や新工法が住宅の差別化

製品として市場から高い評価を受けました。更に、当社グループは環境問題に積極的に取り組み、VOC1%未満、非トルエン・キシレンの人に優しい室内用塗料やヒートアイランド対策として遮熱・断熱機能を持つ省エネ塗料の開発、販売の促進を始め、安全面ではゼロアスベスト、ゼロロックウールの耐火被覆材や無機断熱材等特殊機能型製品の市場開発を強化してまいりました。

この結果、建築仕上塗材及び耐火断熱分野がともに好調に推移し、連結売上高は265億3百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

また、利益面におきましては、厳しい競争に伴う販売価格の低下、原油高による原材料費の上昇や人員増強による人件費の増加等のマイナス要因がありましたが、差別化された高付加価値製品の販売拡大や海外売上の増大等により、経常利益は31億84百万円(同10.8%増)、中間純利益は19億5百万円(同14.0%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格の動向やアジア経済の増勢変化等の影響が懸念されており、景気の先行きは依然として不透明なものとなっております。

このような状況の中にあつて、当社グループは、建築仕上塗材の分野では業界一の製品開発力と品揃え、先進のテクノロジーと環境に配慮した安全設計で顧客の信頼性を一層高めることによりオンリーワン、No.1企業としての地位を固め、第二の創業発展期として躍進してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高535億円、経常利益66億円、当期純利益43億円を見込んでおります。

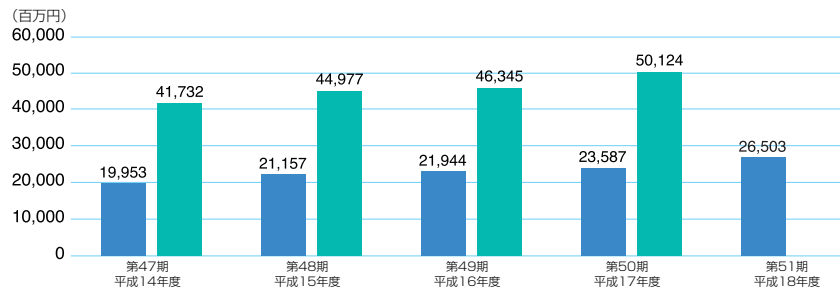
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

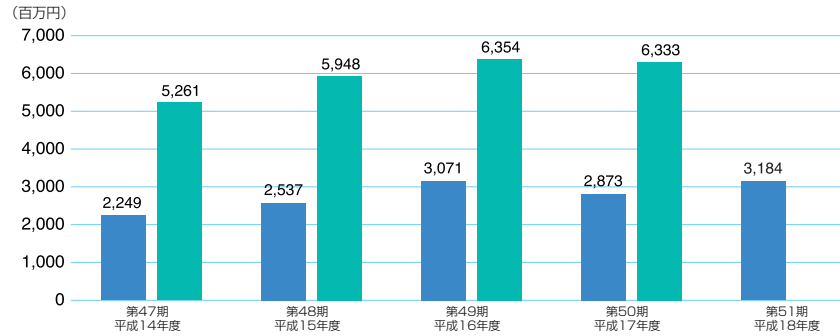


● 業績の推移（連結）

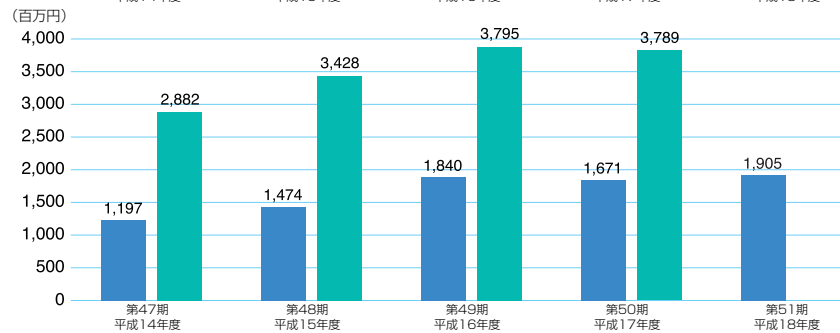
■ 売上高



■ 経常利益



■ 中間(当期)純利益



■ 中間期
■ 通期



中間連結貸借対照表

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	37,503	41,862	40,961
現金及び預金	17,217	19,581	19,871
受取手形及び売掛金	15,063	16,442	15,789
有価証券	610	203	604
たな卸資産	3,912	4,691	4,011
繰延税金資産	520	598	654
その他	389	474	272
貸倒引当金	△ 211	△ 129	△ 243
固定資産	14,345	15,215	14,550
有形固定資産	10,690	11,016	10,745
建物及び構築物	2,887	3,080	2,830
機械装置及び運搬具	976	892	948
土地	6,672	6,670	6,678
建設仮勘定	24	253	165
その他	130	119	122
無形固定資産	428	447	457
投資その他の資産	3,226	3,751	3,347
投資有価証券	1,149	2,002	1,638
繰延税金資産	503	562	531
その他	1,739	1,365	1,359
貸倒引当金	△ 166	△ 178	△ 182
資産合計	51,849	57,078	55,512

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	10,688	12,576	12,077
支払手形及び買掛金	4,106	4,628	4,261
短期借入金	2,019	2,002	2,000
未払法人税等	1,162	1,277	1,420
賞与引当金	838	907	1,027
役員賞与引当金	—	22	—
製品保証引当金	80	72	77
債務保証損失引当金	—	100	—
その他	2,480	3,565	3,291
固定負債	2,393	2,190	2,299
長期未払金	833	546	698
退職給付引当金	392	409	412
役員退職慰労引当金	758	806	771
その他	408	428	417
負債合計	13,082	14,767	14,377
(資本の部)			
資本金	2,662	—	2,662
資本剰余金	3,137	—	3,137
利益剰余金	34,525	—	36,642
その他有価証券評価差額金	22	—	9
為替換算調整勘定	△ 314	—	△ 36
自己株式	△ 1,265	—	△ 1,278
資本合計	38,766	—	41,135
負債及び資本合計	51,849	—	55,512
(純資産の部)			
株主資本	—	42,403	—
資本金	—	2,662	—
資本剰余金	—	3,137	—
利益剰余金	—	37,891	—
自己株式	—	△ 1,286	—
評価・換算差額等	—	△ 92	—
その他有価証券評価差額金	—	△ 11	—
為替換算調整勘定	—	△ 81	—
純資産合計	—	42,311	—
負債純資産合計	—	57,078	—

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

● 中間連結損益計算書

科目	前中間期 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで		当中間期 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで		前期 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	
売上高		23,587		26,503		50,124
売上原価		15,952		18,308		34,234
売上総利益		7,634		8,194		15,890
販売費及び一般管理費		5,015		5,339		10,110
営業利益		2,618		2,855		5,780
営業外収益						
受取利息及び配当金	30		55		71	
その他	274	304	393	449	558	629
営業外費用						
支払利息	5		5		7	
その他	44	49	113	119	67	75
経常利益		2,873		3,184		6,333
特別損失						
減損損失	—	—	8	8	—	—
税金等調整前中間(当期)純利益		2,873		3,175		6,333
法人税、住民税及び事業税	1,135		1,230		2,631	
法人税等調整額	66	1,201	39	1,269	△86	2,544
中間(当期)純利益		1,671		1,905		3,789

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 「快適」「健康」「安全」「安心」「環境」で業界をリード

トピックス

ペイントショー2006

4月6日～8日までの3日間、4年に一度のビッグイベントが東京ビッグサイトで開催されました。当社は24コマと大規模スペースに、先進の省エネ、機能型製品・システムを数多く出展し、業界NO.1の地位を大きくアピールしました。



拡大・整備が進む事業拠点

9月には現神奈川工場の隣接地を買収し、事務所棟、倉庫棟を新設。これにより、関東地域の供給体制が一層充実し、顧客満足度の向上につながります。この他、浜松出張所の開設（9月）、更に今期中には、札幌、静岡、三河の各事業所も新築移転し、在庫機能、調色サービスを充実、ショールームも併せて設置する予定であり、お客様により近いサービスステーションを目指します。



神奈川工場



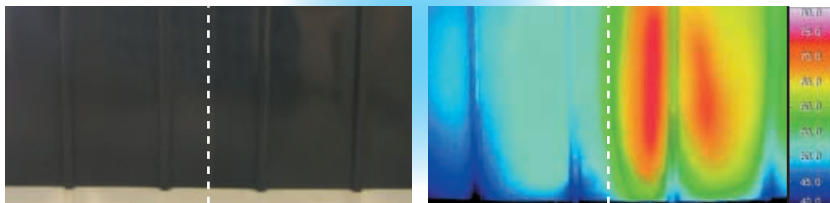
浜松出張所

ヒートアイランド対策製品

東京を始め、主要都市ではヒートアイランド対策から、遮熱塗料への関心が高まっています。当社では業界に先がけて開発した屋根用遮熱塗料にシリコン系やふっ素系の製品を新しくラインアップ。更に外壁にも遮熱・断熱工法を開発するなど、地球環境を考えた製品づくりに積極的に取り組んでいます。

サーモグラフィーによる温度比較

汎用塗料と比べ 20℃の差



見た目は同じでも、赤外線ランプを照射した実験では、サーモグラフィーではっきりと温度差が分かります。

■ 会社概要 (平成18年9月30日現在)

設立 昭和33年4月17日
 資本金 26億6,200万円
 企業集団の従業員数 1,306名 (臨時従業員を除く)
 事業内容 ● 建築仕上塗材事業
 有機無機水系塗料、合成樹脂塗料、無機質系塗料、
 無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
 ● 耐火断熱事業
 断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
 ● その他の事業
 各種化成品、洗浄剤等の製造販売



本社

■ 役員

代表取締役社長	藤井 實	取締役	伊藤 義之
専務取締役	坂本 雅英	常勤監査役	金谷 晃克
常務取締役	藤井 実広	常勤監査役	辻村 倬太郎
取締役	廣瀬 勝義	常勤監査役	森山 剛正
取締役	藤井 訓広	監査役	東浦 信光
取締役	福岡 透		

■ 主要な事業所

本社	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-25 TEL. 072-621-7720	九州工場	〒820-0609 福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
営業本部	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-25	大利根工場	〒303-0044 茨城県常総市菅生町57-1
国際事業部	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-25	名古屋工場	〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-2
東京支社	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-18	兵庫工場	〒679-0221 兵庫県加東市河高355-40
大阪支店	〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3-5-31	埼玉工場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-6
福岡支店	〒813-0062 福岡市東区松島5-6-16	第一技術研究所	〒567-0059 大阪府茨木市清水1-25-10
名古屋支店	〒451-0044 名古屋市西区菊井2-14-19	第二技術研究所	〒567-0056 大阪府茨木市南清水町4-1
大阪工場	〒567-0056 大阪府茨木市南清水町4-5	営業所全国45ヶ所	
神奈川工場	〒228-0012 神奈川県座間市広野台2-3-30	< 海外 >	
		北京駐在事務所	北京市朝陽区光華路7号

■ 主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD.	(シンガポール)	SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.	(上海)
SKK (H'K) CO.,LTD.	(香港)	SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD.	(タイ)
SK KAKEN (M) SDN.BHD.	(マレーシア)	SKK KAKEN (KOREA) CO.,LTD.	(韓国)
SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD.	(マレーシア)		



SK KAKEN

<http://www.sk-kaken.co.jp/>

株主メモ

決算期日	毎年 3月31日
定時株主総会	毎年 6月
基準日	毎年 3月31日
株主名簿管理人	その他必要ある場合、あらかじめ公告する一定の日 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事務取扱場所	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
連絡先・送付先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 (〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)
取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
1単元の株式数	1,000株
公告掲載紙	日本経済新聞
証券コード	4628

